

ダメージの本質をとらえた ブレンディングトリートメント

「フィレディカ エクシフォン」のパーマデザインを、より美しく仕上げてくれるのが、トリートメント剤「トリシス」。今回はダメージが少なかったため、「KL」、「KM」、「CO」をそれぞれ2mlを24mlの水で割ったものを前処理のみに使用。

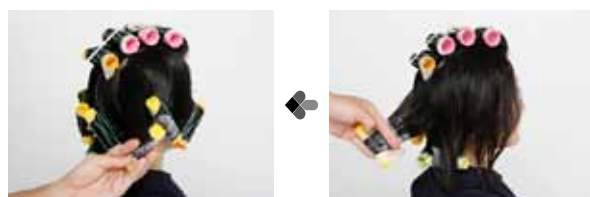


スタイリング剤で パーマをもっと自由に

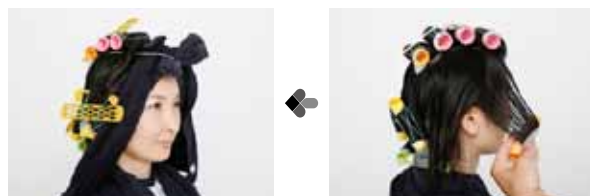
お客様の満足度を左右する、フィニッシング。ウエット時に「デューサーフォーム2 ソフトタイプ」をピンポン玉2つ程度、髪を持ち上げるようにもみ込み、毛先のバサつきを抑えながら動きのあるスタイルに仕上げることで、。



1. バックのミドルは20ミリのロッドで、顔側からフォワード、リバース交互に中間巻き。カールとカールがぶつかって、ボリュームが出るようにする。



2. 顔まわりに落ちる部分は、ロッド幅の1.5倍のスライス幅で、23ミリのロッドで毛先から2回転内巻きする。顔まわりで大きくうねるウェーブをねらい、デザインの表情を決定づける大事なポイントとする。すべて厚めのスライスで巻き、ワインディング後、1剤を自然放置し、中間水洗して2剤処理。



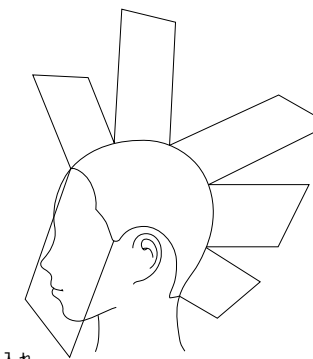
トップの立ち上がりと 顔まわりのワンカールが要

長谷川さんが提案する、シンプルな時短パーマの秘密とは。
髪にやさしい「フィレディカ エクシフォン」とのコラボで、
思いどおりのスタイルを手に入れる。



カットの構成

スタイルに動きが出るように、顔まわりにレイヤーを入れる。トップは正面から見てコンケープ状にレイヤーを入れ、その他は全体的にグラデーションをつなげる。



BEFORE



毛髪診断

長さは肩までのワンレングスで、全体にグラデーションが入っている。髪質はやわらかく、毛量と太さはふつう。縮毛矯正の履歴があり、毛先に少しダメージがある。ヘアカラーをしていないため、毛先以外は健康毛。トップにボリュームが出にくく、ペタンとしてしまいがちで、顔まわりもストンと落ちるストレート毛で華やかさに欠ける。

ROD ON



PERM PROCESS

デザインの方向性

トップの立ち上がりを気にしているお客様の要望に応え、根元までロッドを巻きおさめてしっかりと立ち上げる。レイヤーを入れた顔まわりにゆるやかなウェーブをねらい、動きを出せるように。セクションによって、Cカール、Sカール、Jカールを使い分け、表情豊かに仕上げる。



ダメージが目立つ毛先中心に前処理し、コルテックスを補修。バンブーは毛先から26ミリロッドで外巻きし、続いてトップは中間巻きで根元まで巻きおさめ、自然な立ち上がりねらい。ボリュームダウンさせたいネーブは、ダウンステムで17ミリのロッドを毛先から1.5回転内巻き。すべてペーパーで髪の両側を挟んでからロッドに巻くことで、薬液の浸透を促進させる。

WASH OUT



RECIPE

使用薬剤

前処理剤：「トリシス ブレンディングPPT」
パーマ剤：「フィレディカ エクシフォン 54CT」

工程

ワインディングは1剤つけ巻き。バンブーは26ミリで外巻き。トップは26ミリ、トップの一番下のみ23ミリで中間巻きする。ミドルはフォワードとリバースを交互に20ミリのロッドで中間巻きし、ボリュームを出す。ネーブは17ミリのロッドをダウンステムで巻き込む。ワインディング終了後、10分自然放置し、中間水洗。2剤は7分+7分の2度つけ。2回目の2剤塗布の際、バンブーのみロッドをはずしておく。